

## 会議結果報告書

令和4年7月13日

1 会議日時	令和4年7月1日
2 場 所	議員全員協議会室
3 件 名	オフィス改革の推進について
4 出席者	市長、副市長、教育長、各部長級職員、総務課長、財政課長、政策推進課長、政策推進課関係職員、情報推進室長
5 会議結	<input type="checkbox"/> 案のとおり決定する <input type="checkbox"/> 一部修正の上、決定する <input type="checkbox"/> 継続して検討する <input type="checkbox"/> 案を否決する <input checked="" type="checkbox"/> 報告を了承する
6 会議内容	<p>●各業務について、引き続きデジタル化への対応は必要であることから、令和4年度も引き続きオフィス改革に取り組む。</p> <p>●オフィス改革を中心的にけん引するコアメンバーを選定する。</p>

備考：会議内容を簡潔に記載すること

重要計画付議(報告)書

令和4年6月23日

部課名( 政策企画部 政策推進課 )

1 件名	オフィス改革の推進について
2 計画の概要	<p>オフィス改革について、新生活様式対応行政サービス構築事業においてハード面の整備はある程度終了した。</p> <p>令和4年度も引き続き全庁へ展開するが、組織体制の見直しを行うとともに浸透プログラムについては ICT のメニューを細分化させ実施する。</p>
3 関係法令等	
4 関係課	市組織全て
5 その他	

備考：計画書を付議又は報告する場合に使用

# オフィス改革の推進について

2022/7/1

政策企画部政策推進課情報推進室

## 令和4年度について

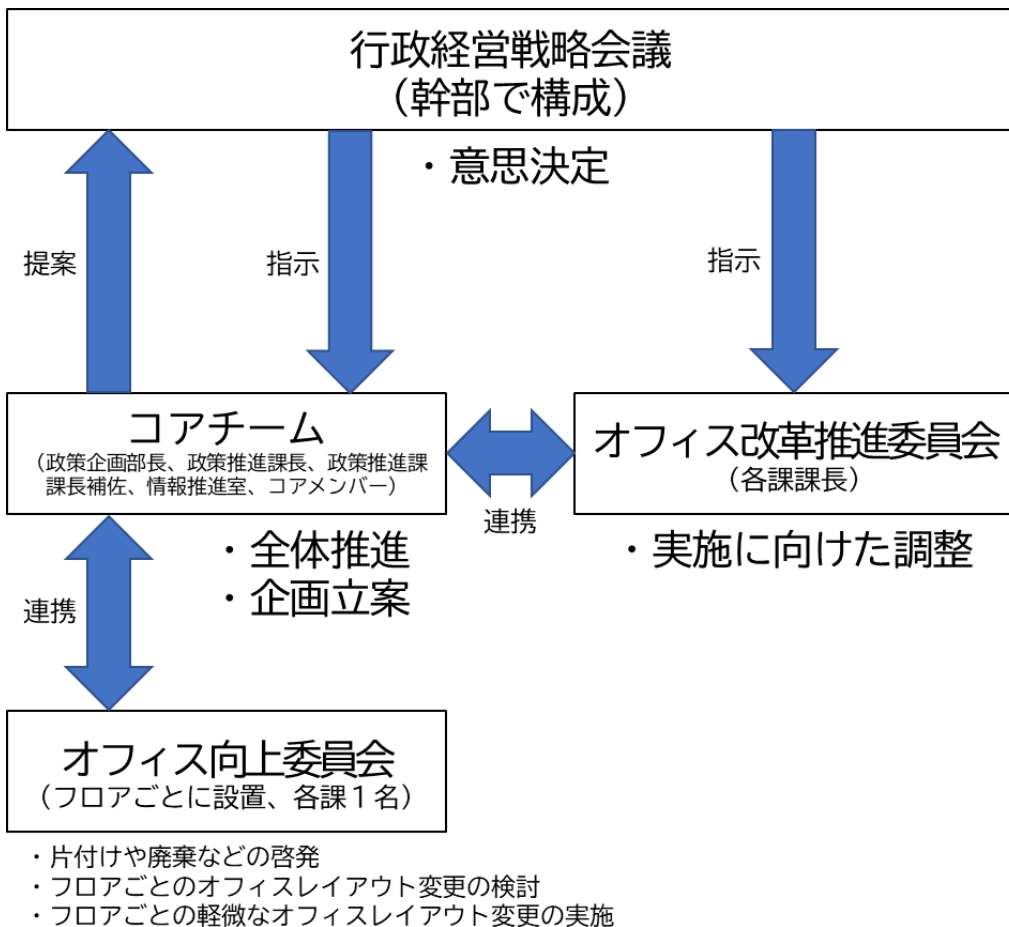
- ・仲教授グループより、引き続き「アツい」想いを「全庁へ広げていく必要がある」というアドバイスをいただく
- ・昨年度課長補佐級対象に実施した浸透プログラムのICT部分が好評であり、デジタル化への対応は今後も必要



令和4年度も引き続きオフィス改革に取り組む

# 令和4年度の推進体制

体制図



組織	メンバー	担当範囲
コアチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有志で「アツい」想いを持っている職員を公募</li> <li>・少なくとも6人程度（執務場所が公民館、支所、本庁等とばらけるとベター）</li> <li>・活動期間は2年程度</li> <li>・係長級以下を想定（「アツい」想いがあればいいので、制限はせず募集）</li> <li>・要綱設置（発令までは要しない）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィス改革の推進的立場</li> <li>・試行的に様々なアプリ等の利用、先進オフィス視察等を経験し、新しい働き方の「テストユーザー」となる。実施内容を浸透プログラムで発表</li> <li>・改善、問題点、対応の検討、提案</li> <li>・今後の進め方の検討、提案</li> <li>・ワークショップにおけるグループワークなどのサポート役</li> </ul>
オフィス向上委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロアごとに各課から1名選出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片付けや廃棄等の啓発</li> <li>・フロアごとのオフィスレイアウト変更の検討</li> <li>・フロアごとの軽微なオフィスレイアウト変更の実施</li> </ul>
オフィス改革推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課の課長で構成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恒常的な業務については各課の担務として実施することを確認 例) 文書廃棄→総務課、電子決裁→総務課、机の廃棄→財政課など</li> </ul>

### ○全員参加型の浸透プログラム（部長級セッション）

- ・ 職員の業務における生産性の向上、公民連携、市民共創を活性化させることで西予市の課題を解いていくとの目的のもと、部長級で新しい働き方について議論を実施（仲隆介教授・戸梶亜紀彦教授のファシリテーションで全5回実施。）

→職員各自があるべき姿を探す際の参考として活用するため「部長のささやき」という形でまとめ、職員を目に留まるところへ掲示

### ○全員参加型の浸透プログラム（浸透リーダーセッション）

- ・ 課長補佐級（浸透リーダー）への浸透プログラム

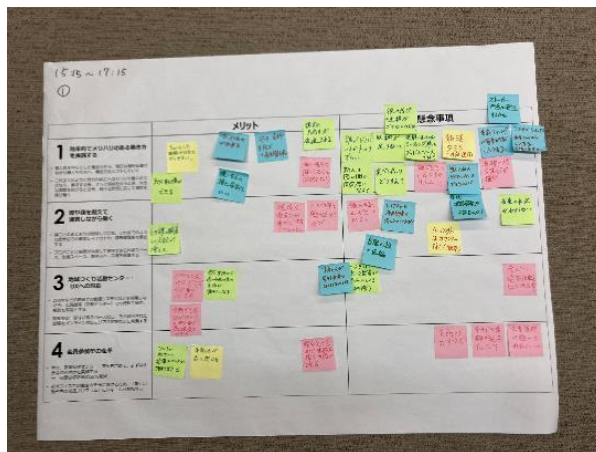
→新しいオフィスの働き方、Zoom等ICTツールの使い方の研修等を通じて自分ごととしてもらうためのプログラムを実施



新しい働き方について部長級での協議の様子。



新しい働き方でのメリットや懸念事項を各グループで議論。



新しい働き方やICTの活用方法についてレクチャーを受けている様子。

No.1

#### ポジティブなやる気を三遊間ゴロに向けよう！

今の課題や市民の要望が多岐にわたる。その変化のスピードも速くなっており、そのため、各部署に別れた業務や自分の業務分掌で済ませた業務などというだけでは、抱えきれない課題が増えています。市長サービスの向上と市民の向上にはこれらの課題を扱うことがとても重要になってきています。

具体的な取組例

- ・ 常に考えていることにアップデートする
- ・ リーダーが、仲間と話し合うことが本当に良い結果につながることを信じ、自ら率先行動し、必要に応じてサポートする
- ・ 主要な業務が完了したら、積極的に仲間として位置づけられないよう努力する
- ・ 自分や同僚の成長を応援することが、将来的に自分自身にもプラスになる
- ・ 部下や同僚の成長を応援することが、業務全体のバランスを見ながら、助けをあげよう

高橋 啓介 中野 浩二 エンゲージメント

No.2

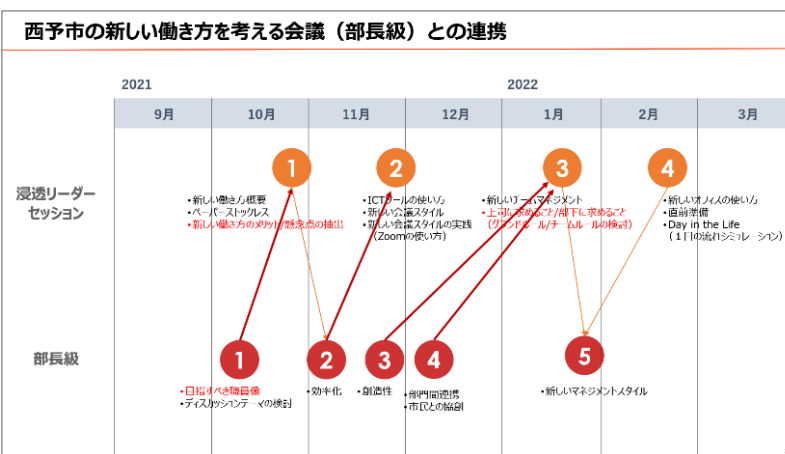
#### 事業廃止の背中を押してあげよう

職員数が増少していく中、本局に重要な仕事に割り振るには、やむを得ず事業の廃止が必要になります。ところが、担当者が行わず、その責任を誰にも負いません。仲間や上司として、一緒に考え、必要に応じて背中を押してあげることが重要です。

具体的な取組例

- ・ 廃止した目的の明確な理由を述べて、賛成者が集まるまで議論。必要に応じて賛成者が集まるまで議論を続ける
- ・ 必要に応じて、賛成者が集まるまで議論を続ける
- ・ 廃止する事業は行政経費削減を目的として決断する。賛成者が集まるまでの過程で、事業廃止を断念する
- ・ 廃止の理由を説明して、賛成者が集まるまで議論を続ける。賛成者が集まらなければ、その結果、市長サービスの向上を目指す

高橋 啓介 エンゲージメント



# 令和4年度の浸透プログラム

## ○浸透プログラム計画

### 1 内容

- ①仲教授・戸梶教授による総論的な講話：1～2回
- ②コアメンバーによるケース紹介、オフィスの使い方の紹介：1回
- ③デジタル関係スキルアップ研修：複数回

### 2 受講対象者

- ・①②については各課2名が受講。2名が協力して各課で浸透（課員が少ない課は1名）
- ・③は希望者。ただしセキュリティに関する回は全員参加（動画視聴可）

### 3 実施時期

- ・①は7月後半から8月で調整
- ・②は上半期にコアメンバーに試行してもらい、10月以降実施
- ・③は随時

### ※ ③の詳細案

- ・レベル1 Windowsの基本、便利なショートカット等
- ・レベル2 Excelでの条件付き書式、入力規則、ピポットテーブル等、google検索等業務のスピードを上げる手法
- ・レベル3 必要になるであろうICT用語や知識（クラウド等）
- ・セキュリティに関するもの

教材（動画をみてチェックする等）を作成し、全員受講

# 令和4年度の浸透プログラム

## 〇スケジュール

オフィス改革 今年度のスケジュール

区分	項目	内容	6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月							
			1w	2w	3w	4w	1w	2w	3w	4w	1w	2w	3w	4w	1w	2w	3w	4w	1w	2w	3w	4w	1w	2w	3w	4w	1w	2w	3w	4w	1w	2w	3w	4w	1w	2w	3w	4w								
推進体制	行政経営戦略会議	報告					■																■																				■			
	オフィス改革推進委員会	随時開催																																												
	コアチーム	公募						■	■	■																																				
		活動									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■								
	オフィス向上委員会	メンバー選出					■	■																																						
委員会								■				■				■				■				■				■				■				■										
浸透PG	浸透プログラム	総論の話							■	■																																				
		事例発表																	■	■																										
		ICT研修Lv1							■	■																																				
		ICT研修Lv2											■	■																																
		ICT研修Lv3															■	■																												
		セキュリティ																			■	■																								